

選手宣誓

2021.2.18

来週、「ビブリオバトル」が開催されるとしたら、皆さんは、どの本で勝負に挑むだろうか。私なら『本日は、お日柄もよく』にする。

その前に、ビブリオバトルについて確認しておく。2007年に考案され、京都大学から広まった輪読会・読書会、または勉強会の形式で「知的書評合戦」とも呼ばれる。公式ルールは次のようになる。

- 1 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- 2 順番に一人5分間で本を紹介する。
- 3 それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
- 4 すべての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。

ビブリオバトルは、ここ数年で急速に広まってきている。私は、二度目の県教育センターにくる前の平成27年度と28年度の2年間、小学校に勤務していた。その学校にビブリオバトルを取り入れた。全校生15人ほどの小規模校だったため、テレビ会議システムを使って、県内の他の小規模校と合同でビブリオバトルを行ったこともあった。その結果、わかったことは、ビブリオバトルはやったほうがよいということである。多くの学校が実践している「朝の読書」と関連させて行うこともできる。

さて、『本日は、お日柄もよく』だが、「原田マハ」という方が書き、徳間文庫から出ている。本の帯には、こうある。

2011年、夏の高校野球の選手宣誓を覚えていますか？ 本書を読んだ時、真っ先にそれが浮かびました。私の見た中でそれは、最も純粹で清々しく、感動するスピーチでした。人の心を打つ、人の記憶に残る、数少ないスピーチと同じように、この本は読む人の心を揺さぶり、熱くさせ、記憶に残ります。そして、そういう物語には、滅多に出会えるものではないのです。どうか、この本を手にとっていただけますように。（販売担当者）

私が、人に「この本がいいよ」と勧めるのは珍しい。妻にも勧めた。数時間あれば読み終わる。忙しい彼女は、何日間かにわたって読んだが、最後読み終わった場所が駐車場だった。それも車の中である。助手席には彼女が、そして運転席には私がいる。彼女は泣きながら読んでいる。傍から見れば別れ話をしている男女にしか見えない。失敗だった。

楽しみがなくなるので、これ以上は何も言わない。ただ、一つだけ言いたいことがある。この本は「読後感」がいい。

(次号に続く)